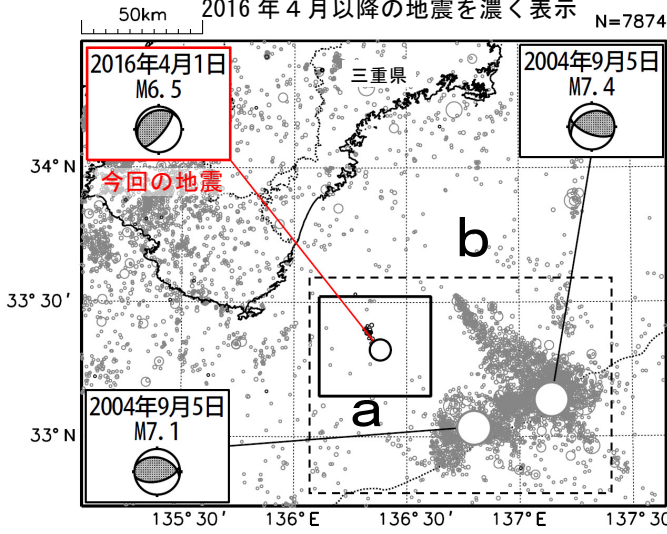


4月1日 三重県南東沖の地震

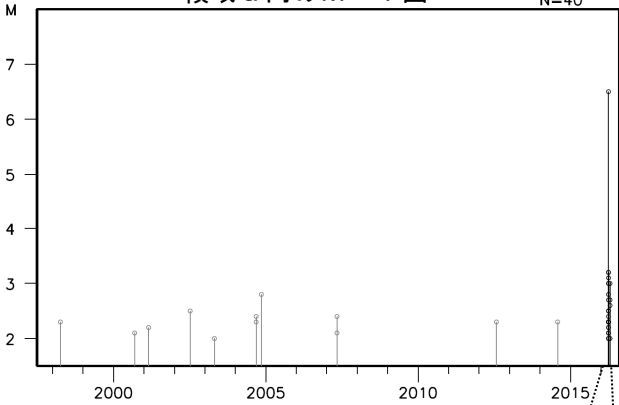
震央分布図

(1997年10月1日~2016年4月30日、
深さ0~80km、M≥2.0)

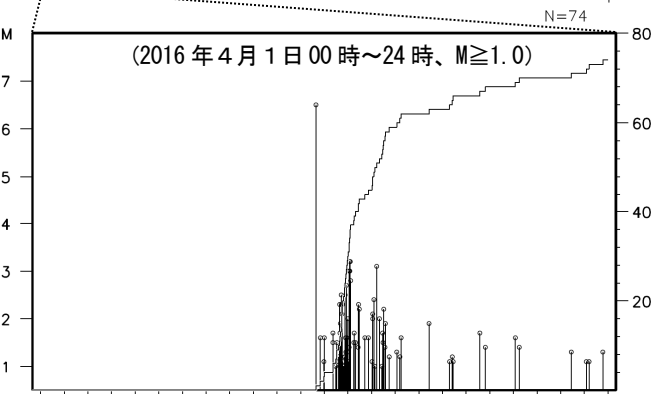
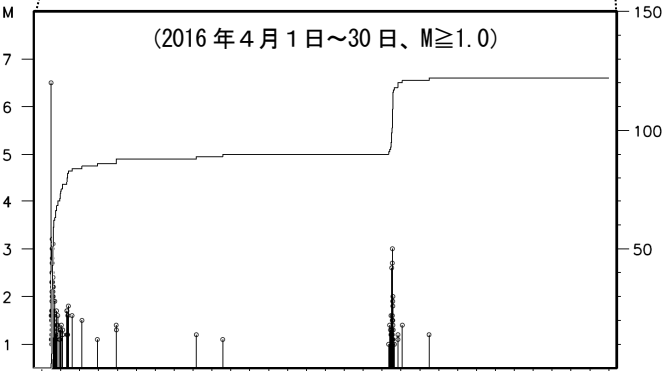
2016年4月以降の地震を濃く表示



領域a内のM-T図



領域a内のM-T図及び回数積算図



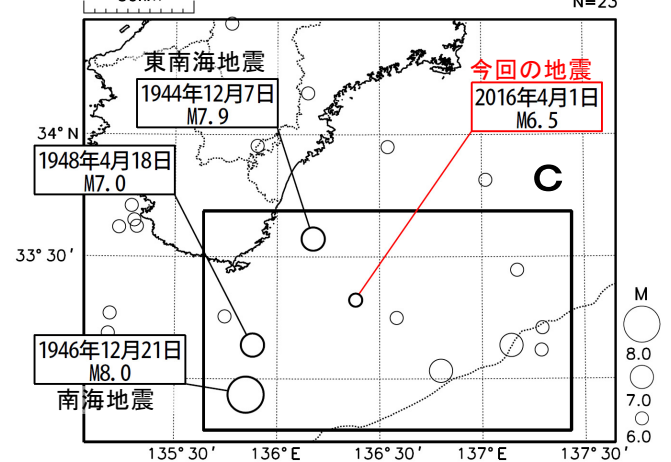
2016年4月1日11時39分に三重県南東沖でM6.5の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。震度1以上を観測する余震は発生していない。今回の地震発生直後は、規模の小さな余震がまとまって発生したが、次第に減衰した。4月19日に一時的にややまとまった活動が見られたが、その後まとまった活動にはなっていない。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)の地震活動は低調であり、M6.0以上の地震は初めてであった。今回の地震の震央周辺(領域b)では、2004年9月5日23時57分にM7.4の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震により、神津島神津島港で101cmの津波を観測するなど、東北地方から九州地方にかけて津波を観測した。また、同日19時07分にはM7.1の地震(最大震度5弱)が発生し、関東地方から四国地方にかけて津波を観測した。これらの地震により、負傷者42人などの被害が生じた。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、1944年12月7日にM7.9の地震(東南海地震)、1946年12月21日にM8.0の地震(南海地震)が発生している。

震央分布図

(1923年1月1日~2016年4月30日、
深さ0~100km、M≥6.0)



領域c内のM-T図

